

権五郎武勇伝

むかしむかしあつただよ。

陸奥の国 清原武則、武衡、家衡が、源頼義と共に、安部頼時、貞任、宗任、親子を

討ち（前九年の役）その領地を併合して、強大な勢力を持つようになった清原氏を、都の
將軍は大変じやまになつただいど。

そこで、源頼義の子、義家を鎮守府將軍として陸奥の国に派遣させ、藤原清衡の助
けを借りて、清原氏を平定したんだいど（後三年の役）。

その時、義家に従つて来た鎌倉武士団の中に、鎌倉権五郎景正という若武者がいたんだいど。
時に寛治元年十二月、北国は真冬で関東武士の鎌倉党は大変苦戦をしいられたんだいど。

川原には霧が立ち込め、ススキ原、一面に生い茂り、前方の見分けもできない時に、突